

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6 年 3 月 11 日

事業所名 放課後等デイサービスおおぞら六木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				利用定員と指導室のスペース等の規定を遵守していきます
	②	職員の配置数は適切である	7				今後も遵守していきます
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		7			バリアフリー化が必要な児童が入ってきた場合にその都度改善していきます
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			不定期でスタッフにアンケートを実施し、振り返りを行っている	定期的にミーティング等を開催、当日参加できないスタッフは議事録等を確認していきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				アンケートを基にミーティングで周知していきます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				引き続き、HPで公開していきます
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		検討していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				引き続き定期的に社内研修を実施していきます
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			ミーティング等で実際に支援に当たっているスタッフの意見も取り入れている	児童発達支援管理責任者が作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				使用していきます
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				ミーティング等で話し合いをしています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				児童の特性や成長に合わせて工夫していきます
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			季節に応じたイベントや工作、外出の予定を考案している	児童の特性や成長に合わせてプログラムを考え工夫していきます
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			事前に様々なプログラムを用意し、状況に応じて臨機応変に対応できるようにしている	各児童に合わせた取り組みを個別、集団を組み合わせで行っていきます
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			参加できないスタッフも含め、毎日予定表を作成し、必要事項を記載し確認できるようにしている	引き続き行っていきます
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			翌日になる場合もあるが、児童共有ノート作成し常に共有できるようにしている	引き続き共有していきます
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			問題行動がある場合や、モニタリング時期には必ず検証している	引き続き行っていきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 サービス計画の見直しの必要性を判断 している	7			全スタッフが参画できる ようミーティング等 で話し合いを行い、 児発管が保護者と面 談を行っている	引き続き行っていきます
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	7				定期的にガイドラインの確認を 行っていきます
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			担当者会議が必要な 場合はこちらから相 談支援員に相談を持 ち掛けることもある	児発管が参画しています
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	7			引渡し時に児童の学 校での様子を聞いて いる。必要があれば、 電話で確認を取っ ている	引き続き行っていきます
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る		3	4	厚労省や東京都から の通達に目を通して いる	現在該当児がない。受入れ 体制も整っていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	7			情報収集している	児発やセンターは情報共有でき ている。保育園や幼稚園等は難 しいが行っていききたい
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		7		支援経過報告書の 作成をしている	学校がメインで行っているの で保護者があまり必要性を感じ ていないが、必要に応じて提供 できるよう準備していきます
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	7			情報収集している	今後もより良い支援ができるよ うに研修に参加し学ぶ機会を大 切にしています
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	1		6	放デイの認知がされ ておらず、邪険に扱 われることがあるの で難しいと感じている	感染症状況を把握しつつ機会 があれば検討していききたい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	7				引き続き参加していきます
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7			都度共通理解を持 てるよう努め、モニタ リング面談時に擦り合 わせを行っている	今後も日々の連絡帳や送迎 時、電話等で情報共有していき ます
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	7				都度行っていきます
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	7			登録時に説明を行っ ている。変更事項は 都度お知らせや面談 で説明している	引き続き登録時や変更時に説 明をしていきます
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			モニタリング面談時 にも聴く態勢を取っ ている	引き続き電話や対面での相談 の時間を設けていきます
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している			7	就労している方が多 く学校の保護者会、 面談、発表会、運動 会等で時間が取れな い保護者が多い	今後要望があれば開催を検討 していきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				都度対応していきます
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			活動がわかりやすいように写真メインにしており、重要なお手紙は必要時に別途配布している	引き続き毎月発行していきます
	③⑤	個人情報に十分注意している	7			入社時、退職時に秘密保持誓約書を取り交わしている	引き続き、個人情報保護法に遵守し適切に対応していきます
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			児童の特性や成長に合わせアイテムの修正や追加、ツール(手話等)を増やしている	今後も一人一人に合わせた視覚支援等のアイテムやツールを活用し、対応していきます
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7		感染状況を配慮しつつ検討していきます
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			保護者には登録時に説明を行っている。マニュアルは必要があれば修正している	引き続き、定期的に研修や訓練を行っています
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			新情報があれば積極的に取り入れている	年に1～2回災害を想定した避難訓練、毎月1回室内での訓練を行っています
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			必要があればマニュアルを修正している	今後も定期的に研修を行います
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				必要都度保護者に十分な説明を行い計画書に記載していきます
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7		薬服用時の摂取してはいけない食材の把握	今後も保護者の情報を基に対応していきます
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				ヒヤリハット集を研修時に周知し、定期的に見直しをしていきます

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。